

季刊 てんばうだい

社会福祉法人 常美会
おくらの里

愛媛県新居浜市御蔵町11-23
TEL (0897) 31-6113
FAX (0897) 31-6114

第63号

2022年 冬

新年のご挨拶

グループホームうわばら 管理者

浅木 修

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年中は、利用者・入居者様やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年の干支は「寅」です。その中でも「壬寅」（みづのえ・とら）という年とのことで、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になることを意味します。

当社会福祉法人常美会も今春には創立20周年を迎えます。これをひとつの節目と考え、華々しく生まれる年にすべく、今一度法人理念である『常に美しい心』を念頭に置き、利用者・入居者様から信頼される施設作りに、職員一同一丸となり邁進してまいります。

旧年中は新型コロナウイルスの様々な影響を受ける中で、感染症対策の取り組みにご協力いただきまして、心から感謝申し上げます。面会制限につきましては、かなり感染者数が減っておりますが未だ全面解除とはされておらず、ご家族様には大変ご迷惑をお掛けしております。何卒ご理解を今後とも賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染者数は全国的に下げ止まっています。このまま終息に向かうことを心から祈るばかりですが油断は禁物です。今後も新型コロナウイルスとの共存・共生を目指し、その時その時の状況下でできる限りの支援を目指していきます。

利用者本位の更なるサービスの質の向上と人材育成、地域福祉の推進や地域貢献活動など、職員皆が知恵を出し合い一歩一歩着実に、新しい施設運営のあり方を試行錯誤しながら取り組んでいきたいと考えております。今年も一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

うお願い申し上げます。

最後に皆様のご健康と益々のご発展をお祈り申し上げます、年始のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

希望ある明日へ

謹賀新年、明けましておめでとうございます。

コロナウイルスと付き合うこと早3年目を迎え、未知の出来事を経験して、今まで当たり前だったことの尊さや新しい価値観や人との関わりについて色々と感じ直す機会となりました。

今はまだ気を許せない状況ですが、サービスを必要とする利用者や家族の皆様の安心・安全な暮らしを引き続き守っていくという基本目的を胸に、また一日でも早く平穏な暮らしを取り戻すことができることを願って、希望を持って日々進んでいきたいと思っております。

皆様にとって良い一年となりますように、本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

社会福祉法人常美会 職員一同



祝100歳

おめでとうございます!!



コロナになんか
負けず、祝100歳を
迎えられました。

あっぱれ

の一言です。



おくらの里

2F

お知らせ

おくらの花火大会
甚平を着て

外出できず、屋内で楽しめる事を催しました!



今年は寅年!!

猛虎にコロナを
蹴散らしてもらって
楽しいことを
いっぱいしようね。



57年ぶりの東京オリンピック開催!!

全国を駆け巡ったオリンピックトーチが、おくらの里にもやってきました!! 色々な人達の、色々な想いが詰まったトーチを抱えて…。現地には行けなくても思いは一つ!! ガンバレ日本!!

選手になった。
気分じゃわ



重たあ〜い…



ガンバレ
ニッポン!!



皆さんで
TV観戦も
しましたよ

入所者の方々も
職員も初めて手にする
トーチに感動!!

入所者の方のほとん
どは前の東京オリンピ
ックをTV等で観戦され
たそうで、懐かしそうに
お話をいただきました。



ぬくぬく〜。
フワフワ〜



敬老の日!!

令和3年9月20日

今年は皆さんに色違いのブラ
ンケットをプレゼントしました。
皆さん喜んでくれたかな…。

これで寒い冬も
乗り切れるわ!!



New★
キメポーズ!



あったかいね。
ありがとう!



かまんのん?
ありがとう!!



ハイピース!!



こんなのが
欲しかったんです!



足元が冷えるけん、
よかったわ



力を入れないと
なかなか潰せない…



よいしょ
よいしょ



おくらの里
別館

2F

お知らせ



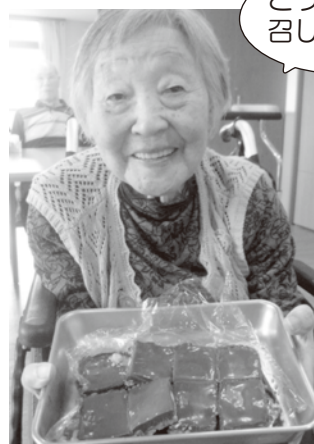
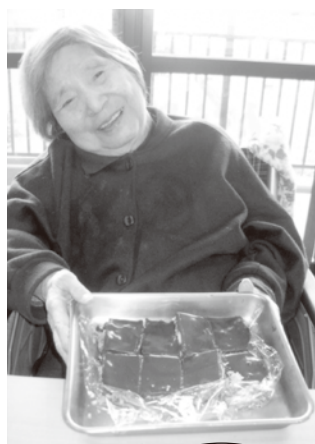
ケーキの土台となるビスケットを潰しています!!

10月9日、感染対策のもと、今年最後のおやつクラブで生チョコケーキを作っていただきました。皆さん、おいしそうに食べてくれました。素敵な笑顔をたくさん見せてくださいました。

できあがり



どうぞ
召し上がれ♪



完成したよ



うまそう



見て!!
おいしそう



では、
いただきます♡



まずは一口…

ペロツ



うまい



ねっとりして
チョコレート
おいしいね



デイサービスセンターおくらの里



運動会

今年は運動会を開催することができました。

堂々と入場され、玉入れ、仮装リレー、大玉ころがしを実施しました。皆さま一致団結して頑張りました。



お芋ほり

デイの南側にある畑で大小たくさんのお芋ができました。利用者様で掘っていただき数週間後には焼き芋として食されました。



紅葉狩り

慈眼寺の紅葉を独り占め。お天気も良くとてもキレイでした。

コロナ禍で去年は外出行事はほとんど中止され久々の外出でした。皆さんの笑顔も真っ赤な紅葉の様に輝いていました。



Iご夫婦
今年も夫婦揃って紅葉狩りへ参加することができました。
来年もお二人揃って見に行きましょね♡



介護タクシー・福祉タクシーとは

介護タクシーとは、「乗降介助」を行うタクシーのことです。乗務員は乗降で介助をするため、「介護関連の資格」が必須です。利用条件は、要介護1以上で自宅・有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅などに住んでいて、1人で公共交通機関を利用できない方が対象です。利用方法は、担当のケアマネジャーへ相談してください。

※対象外の利用：仕事の通勤・通常の買い物・趣味・旅行などの外出。

一方、どんな目的でも利用できる福祉タクシーというの也有ります。費用は保険外(全額自己負担)で、乗務員は介護の資格はないので、家族のサポートが必要です。利用する方の状態に応じてどちらを利用するか決めましょう。適切に利用すれば日常生活をより快適に送る助けとなってくれます。

● 医務・栄養だより ●

インフルエンザ予防接種について

インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があり、特に高齢者や基礎疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高い方には効果が高いと考えられます。

予防接種の接種回数については、13歳以上の方は、1回接種を原則としています。ワクチンの添付文書には「13歳以上のものは1回または2回注射」と記載されていますが、健康な成人の方や基礎疾患(慢性疾患)のある方を対象に行われた研究から、インフルエンザワクチン0.5mlの1回接種で、2回接種と同等の抗体価の上昇が得られるとの報告があります。ただし、医学的な理由により、医師が2回接種を必要と判断した場合は、その限りではありません。なお、定期の予防接種は1回接種としています。

なお、定期の予防接種の対象となる方は以下の通りです。

1. 65歳以上の方
2. 60～64歳で心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

これらの方は、定期の予防接種として、1回のインフルエンザワクチン接種を受けることが可能です。

新型コロナウイルス感染症の予防も合わせて、基本的な対策「手洗い・うがい・マスクの着用」など引き続き心掛けていきましょう。

居宅介護支援事業所 おくらの里

もしものときの防災対策

全国的に地震が多いと感じる今日この頃、皆さん日々の備えを意識していますか。普段より防災を意識し、避難や発生時の対応について考えておくことが大切です。緊急時連絡先、かかりつけ病院、薬局、利用している介護サービス、避難するときに必要なもの、必要な医療・介護物品、家族との待ち合わせ場所などを記載し保険証などと一緒に持ち出せるようにしておきましょう。災害はいつ起こるかわかりません。もしものときに自分の命を守るため、各自で防災用具の見直しなど準備をしておきましょう。

2F

地域密着型

特別養護老人ホーム

広瀬の里

ハロウィンパーティー

10月に毎年恒例のハロウィンパーティーを開催しました。

八重桜・向日葵



ハロウィン仮装行列のお通りよ~!!



全員集合!!ハロウィンパーティー、ハイ・チーズ!!

八重桜



開設10周年を記念してみんなで写真撮影♪

10周年

向日葵



にっこり笑顔で、「ハイ、チーズ♪」

紅葉狩り

ともし火の〜見えて紅葉の〜奥深し〜
奥深き〜杉の木の間の〜紅葉かな〜
by正岡子規

色鮮やかな
紅葉見れて
楽しかったわ~!!



紅葉スポットに
着いたみたいね~



3F

地域密着型

特別養護老人ホーム

広瀬の里

金木犀・山茶花

今年も皆さんで仮装して、ハロウィン限定のお菓子をいただきました。

ハロウィンパーティー

たくさんのお菓子を前に皆さん、どれから食べようか迷っておられました。



さあ、どれから頂こうかしら…



私、きれいでしょ♪



うわあ～おやつがいっぱい!!

広瀬の里 開設10周年

広瀬の里は、おかげさまで開設10周年を迎えました。日頃からの皆様のご支援・ご協力の賜物と深くお礼申し上げます。引き続き、入所者の皆さんの支援と地域の皆様に貢献できますよう、職員一同努めて参りたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。



日常のお食事風景



グループホームうわばら



新年あけましておめでとうございます。昨年一年中コロナ色で終わりました。今年こそはコロナも終息し以前の日常が戻りますように祈りたいと思います。

敬老の日 お食事会とプレゼント



敬老の日 美味しい握りずしや唐揚げを食べてお祝いしました。その後皆さんには衣類、バスタオル、食器などをプレゼントさせてもらい、みなさん大変喜ばれていました。

ホットケーキ作り



3時のおやつを入居者の皆さん中心で、ホットケーキを焼いて頂きました。ふっくらと膨らんでいくケーキを上手にへらを使って裏返します。緊張の一瞬ですが、上手く裏返ると周りの人から拍手喝采をもらい「すごーい!」の声、もちろんその後にはどうだと言わんばかりのドヤ顔です。和気あいあいの一時でした。



ハロウィーンの日



10月31日ハロウィーンの日 東新学園の子供たちが、かわいい仮装をして当グループホームを訪問してくれました。お目当てのお菓子をもらうと、みんなとても嬉しそうにしていました。来年は入居者さんとふれあえる時間が持てればいいなと思っています。



日常の一コマ



近くの散歩



紅葉の瑞応寺



かるた取り

もしも徘徊で、家族が行方不明になったら…

認知症の家族が、徘徊で行方不明になり、側溝に転落したり、交通事故に巻き込まれて亡くなるという痛ましい報道がときどきあります。認知症のご家族にとって、不安、焦燥、罪悪感など心の大きな傷となります。そうならないためにも、事前にできることを知っておきましょう。

◆制度を利用しよう!

まず第一にすることは警察署に捜索依頼を出すことです。写真など不明者の情報を添えて届け出をしてください。自分たちで探し出そうと躊躇しがちですが、時間が経てばたつほど、認知症の人は遠くへ行ってしまう可能性があるため、捜査がより困難となります。行方不明に気づいたときは、自分たちだけで探そうとせず、すぐに警察に連絡することが大切です。また、地域包括支援センターに相談してみるのも一つの手段です。新居浜市では「認知症高齢者のsosネットワーク」を設置しています。このネットワークは認知症の人などが行方不明になったときに素早く捜し始められるよう、事前登録制度となっています。

◆地域の力を借りよう!

ご近所の方々に事情を話して「もしも、うちの人が一人で歩いていたら、連絡をください」とあらかじめお願いしておくことが大切です。また、本人がよく立ち寄りそうな場所やお店などにも事前に話をしておくと思います。しかしこれには、家族の認知症に関する状況を説明しておく必要があります。

認知症は特別な病気ではなく、誰でもかかる可能性がある病気です。徘徊により悲しい事故が起こらないように「もしも」に備えておきませんか?

気になることや相談したいことがあれば、お気軽にご連絡ください。

新年あけましておめでとうございます。
令和3年4月からスタートした東新学園管理者の大星翼と申します。
子どもたちは少しずつではありますが、新しい東新学園での生活に慣れてきたように思います。
昨年はコロナウイルスの影響もあり、子どもたちの行事はなかなか実施することが出来ませんでした。それでも、夏には子どもたちが浴衣に着替え、さらに職員がお店を出して焼きそばやフランクフルト、かき氷等を食べ、子どもたちに少しでも祭り気分を味わってもらうことが出来たように思います。今後は子どもたちが喜ぶような行事を計画・実施していきたいと思っています。
これからも子どもたちが安心・安全な生活を送れるように、職員一丸となって児童の日々の支援に努めてまいりたいと思います。令和4年もどうぞよろしくお願い致します。



児童養護施設 東新学園

職員募集のお知らせ



常美会の各施設では資格や経験を問わない人物重視の採用活動を行っております。質問や見学などお気軽に連絡ください。

●募集職種

介護職員・看護職員・調理職員
児童指導員・保育士

●お問い合わせ先

TEL(0897)31-6113まで

施設の様子や求人に関することなどをホームページで公開しております。
「おくらの里」または「常美会」で検索

編集後記

2022年、明けましておめでとうございます。旧年中も関係者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございます。昨年、引き続き定期発行の「てんぼうだい」は前号(夏秋号)を休刊扱いとさせていただきます。今年、今号を振り返ると、延期を経て色々な物議をかもしながらも開催となったオリビック・パラリンピック、繰り返される緊急事態宣言の発令や日常生活上の自粛制限、ワクチン接種を巡る問題など、コロナウイルスと関係した出来事が多く印象に残っています。

福祉の現場では、災害や感染症対策などの事業継続に必要なことは何かを考えながらも、誰がいつどこでどうなってしまうか分からない緊迫した時期もあり、やはりコロナウイルス関連の対応に追われた一年でした。また、介護報酬の改定や利用者負担の変更など、サービスに関わる色々な変化があった年でもあり、利用者や家族の皆様には何かと負担をおかけしました。法人においては、春に新居浜市から引き継いだ児童養護施設東新学園が開所となり、現在好余曲折の中、手探りで運営をしているところです。
年頭にあたり「サービス」を必要とする高齢者や児童の皆様が安心して住み慣れた地域・環境で自分らしく生活すること、それを支えるという施設・法人の基本的な存在意義を改めて認識し、希望のある年にしていきたいと思っています。新年もどうか、よろしくお願ひいたします。

季刊誌「てんぼうだい」編集委員一同



おくらの里

〒792-0047 愛媛県新居浜市御蔵町11番23号
TEL(0897)31-6113 FAX(0897)31-6114

広瀬の里／地域密着型特別養護老人ホーム・短期入所生活介護
〒792-0047 愛媛県新居浜市御蔵町11番20号
TEL(0897)47-3367 FAX(0897)41-3338

うわばら／認知症対応型共同生活介護
〒792-0046 愛媛県新居浜市上原四丁目1番15号
TEL(0897)47-0900 FAX(0897)40-3456

東新学園／児童養護施設
〒792-0047 愛媛県新居浜市御蔵町11-3
TEL(0897)47-6145 FAX(0897)47-6146

E-mail ● okura11@okuranosato.com
ホームページ ● http://www.okuranosato.com/

